

第 1 回土曜AL(アクティブラーニング)を実施しました

今年度最初となる土曜ALを7月17日(土)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような4つの講演を企画しました。今号では、その様子を紹介します。

講演①「画像認識を中心とした人工知能の最新研究」

(明星大学 情報学部 情報学科 准教授 植木 一也 様)



本校OBであり、世界初の顔画像から年齢と性別を識別する技術を開発し、現在世界10カ国以上で客層分析ツールとして活用されている「FieldAnalyst」の開発者である植木先生からご講演をいただきました。開発のベースとなる技術、システムの実現にむけての課題解決の過程、及び最新の画像認識技術の紹介、さらに人工知能に今後どのように向き合うか等、多岐にわたり興味深い話をしていただきました。生徒からの質問も活発に出され、時間延長での実施となりました。

生徒の感想

画像認識という1つの研究だけでも、幅広い分野に応用が効くと実感しました。AIによるディープラーニングは、自分にとっての固定観念を打破する画期的なシステムだと思いました。しかし、簡単に悪用できてしまいプライバシーを侵害してしまうケースもあるので、利用する人間側のモラル向上や法整備を勧めていく必要があると思いました。

講演②「伝統産業と醤油と起業」

((株)伝統デザイン工房 代表取締役 高橋 万太郎 様)

本講演は、群馬県経営支援課主催の創業者創出ミーティング事業において、実施しました。講師は本校OBの高橋万太郎先生で、(株)キーエンスを辞め、起業するまでの話を通して、失敗を恐れずチャレンジすることの大切さや人とのつながりが、さらに次のチャンスや出会いを招いてくれることなどをお話いただきました。この土曜前後で本校では進路選択についての三者面談を実施していますが、参加した生徒は自分の進路を見つめ直す良いきっかけにもなりました。



生徒の感想

先生のお話を聴き、起業をすることにはたくさんの困難が立ちほだかっていて大変だと思いました。ですが、先生の醤油に対する情熱がすごく、質問にも丁寧に答えていただき、聴きやすく、面白かったので、とても良い経験になりました。講演を聴いて、今後はどんなことも自分にとって、プラスに捉えられるようにしたいと思いました。

講演③「日本の宇宙開発とJAXAの役割」

(NPO法人宇宙アドバイザー協会 代表 富永 和江 様)

本講演では日本や世界における最先端の宇宙開発の状況と、宇宙開発に携わる人々の役割についてお話をいただきました。宇宙ステーションでの様々な実験の様子や、宇宙飛行士の職務の内容等、高校生にとって大変興味深い話ばかりでした。また、月や火星で生活するための研究が、地球上でより良い生活をするために応用されていることも学びました。前高生の知見が大きく広がる素晴らしい機会になりました。



生徒の感想

今回、実際にスペースシャトルや有人宇宙船の打ち上げに関わっていた方からの貴重なお話を伺い、宇宙飛行士の活躍の裏には多くの人の尽力があること、また技術の進展は日々の生活の利便性の向上など役に立つものの為であり、決して悪用してはならないことを学びました。今、日本周辺でもミサイルの発射実験を繰り返している国もあります。宇宙開発の技術は兵器に応用されるかもしれないという話を聞き、恐ろしさを感じました。確かに自分は一高校生であり、特別今すぐに何かできるというわけではありませんが、これからの社会を担っていく存在になることを考え、いまから広い視野を持ち、しっかり意識していきたいと思いました。

講演④「医師という職業～内科医の視点から～」

(埼玉石心会病院 柴田 夏実 様)



本講演では、医療現場の最前線で活躍する医師の仕事の実際が紹介されました。お話の内容は、柴田先生が医師を志したきっかけから、大学入試の話、循環器内科の専門的な話まで多岐に渡っていました。講演全体を通して、高校生の目線に立った非常にわかりやすい説明をしていただいたため、生徒たちは医師という職業や、医師になるための道筋について具体的なイメージを持つことができましたと思います。講演会終了後にも生徒が活発に質問をする姿が見られ、大盛況に終わりました。

生徒の感想

講義を経て、自分が将来医者になりたいと思う気持ちがいよ強くなりました。今回の講義では具体的に医者になるためにはどうすべきか、何をしたらよいかということは話されていませんでした。これは人それぞれに異なったやり方があり、最も重要なのは志であるからだと思います。講義を通して、自分は今後医者になるためにどんなことをしていこうか具体的なことを決めていませんが、医者になるためにもっと努力をしていこうという強い志が持てました。これをふまえて、今後の学校生活をどのようなものにしていくのか、計画立て、見通しを持って有意義な時間を過ごせるようにしたいです。